日時 令和8（2026）年 **9月12日（土）** **10:30～12:00**

参加無料 事前登録不要

場所 テレコムセンタービル5階 オープンスペース E
東京都江東区青海2丁目5-10

主催 日本学術会議 科学者委員会 学術研究振興分科会

会場アクセス https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2026/#access

プログラム（90分）

司会：山崎 典子（日本学術会議連携会員／国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授）

オープニング

10:30～10:38 開会挨拶、「未来の学術振興構想」と本企画の趣旨説明
森田 一樹（日本学術会議第三部会員／日本製鉄株式会社 顧問／東京大学 名誉教授／大阪大学工学研究科 特任教授）

本編（構想説明＋質疑応答）

1. 10:38～10:46 200大学集合！目指せグリーン社会変革
岡田 小枝子（人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 准教授）
2. 10:46～10:54 “守護天使チーム”による究極の個別化医療と見守り社会の実現
横井 英人（一般社団法人 日本医療情報学会 代表理事）
3. 10:54～11:02 染色体ラボ構想：すべての生物種の染色体の可視化を目指して
田辺 秀之（一般財団法人 染色体学会 理事長／総合研究大学院大学 総合進化科学研究センター 准教授）
4. 11:02～11:10 人文知×AIで、ことばと文化の壁を取り払う
小木曽 智信（国立国語研究所 副所長）
5. 11:10～11:18 震源近傍観測・破壊再現実験による沈み込み帯プレート地震メカニズム研究の新展開ー「次の次の」南海トラフ巨大地震予測に向けて
望月 公廣（東京大学地震研究所 教授）
6. 11:18～11:26 電子の反粒子、陽電子で挑む物質科学・基礎科学研究とその未来
長嶋 泰之（日本陽電子科学会 会長／東京理科大学 理学部 教授）
7. 11:26～11:34 アンデス高原で宇宙最高エネルギーの光を追うアルパカ実験
さこ 隆志（東京大学宇宙線研究所 教授）
8. 11:34～11:42 地下深くから宇宙の謎に挑むーXLZD実験で探す暗黒物質
山下 雅樹（名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授／東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 客員上級科学研究員）

総合討論 11:42～11:56
未回答の質問の整理、クロストーク
モデレーター：宮川 剛（日本学術会議連携会員／藤田医科大学研究推進本部 総合医科学研究部門 医科学研究センター 教授）
ゲスト：近藤 潤（文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発戦略課長）

クロージング 11:56～12:00
まとめ、閉会挨拶
山本 晴子（日本学術会議第二部会員／国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事）

開催趣旨

日本学術会議「未来の学術振興構想」は、今後20～30年先を見据えた学術振興の19のグランドビジョンと、その実現に向け今後10年程度で取り組むべき「学術の中長期研究戦略」から構成される、我が国の学術の将来像を示す重要な提言です。
本企画では、これらの研究戦略を8名の研究者が、中高生を含む一般市民に向け各構想の魅力と社会的意義を発信します。行政・政治の関係者をゲストに迎え、フロアからの質疑応答も交えながら「30年後の日本に必要な研究とは何か」を共に考え、研究の知的興奮と未来構想に触れる90分にいたします。

こんな方におすすめ！

- ☑ 科学や研究に興味がある中高生・小学生とその保護者
- ☑ 将来、研究者・技術者を目指している人
- ☑ いろいろな分野の研究を一度に知りたい人
- ☑ 未来の社会や日本の姿を考えてみたい人

どなたでもお気軽にご参加ください！

ご来場者はどなたでも参加できます。ぜひ、友だちやご家族と一緒にお越しください！